

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社菊陽タクシー

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		使用済の車両部品や消耗品(特にブレーキオイル等をはじめとした液体類)の廃棄時には専門業者に依頼した上で適切に処理をおこなっている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		タクシー全車両12台にBEV(日産リーフ)を導入することで、車両からのCO2排出ゼロを達成済。その後の車両更新時もBEVに統一している。 営業所内で使用する電力や充電に使用する電力によるエネルギー使用量は簡易計算シートにより把握している。 本社・営業所内の節電(照明のこまめのオンオフ、エアコン設定温度の管理)を実施している。本社事務所の照明はLED化している。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		タクシー全車両にBEVを導入することで、タクシーからのCO2の排出はゼロを達成している。ただし、車両の充電のために多くの電力を使用しており、それによる温室効果ガスの排出量は簡易計算シートにより把握している。温室効果ガスの削減のために運行効率(実車率)をあげる取り組みは継続実施する。 営業所内においては照明等のこまめなオンオフ、空調管理を通して、電気使用量削減による温室効果ガス削減を推進している。			2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		廃棄物・廃棄液体(化学物質)については専門業者に処理を依頼することで、自然界への流出を防止し、環境への影響を防いでいる。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		タクシー車両の修理・整備の際に、安全に支障がない範囲でリユース部品をすることで資源の有効活用に取り組んでいる。									9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		洗車場をはじめとする各所に「節水」を呼びかけるポスター作製・掲示をおこない、節水を全社的に推進している。 洗車場の水道には節水コマを使用している。 また、タクシーに使用するエンジンオイル等の厳密な管理をおこない、流出を防いでいる。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		車両を更新する際はBEVにて統一している。 事務に使用する消耗品(コピー用紙等)についてはリサイクル製品をできるだけ選定し、使用している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		本社車庫内の空きスペースに花壇の整備と植樹をおこなっている。												11.6 11.7			13.1 13.3	15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		平成25年に日本初の試みとしてタクシー全車両を電気自動車へ更新をおこなった以降、車両更新の際はすべて電気自動車にて更新している。										9.4		11.2			13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		すでに車両からのCO2排出ゼロを達成している。 営業所で使用する電力や、充電に使用する電力等をすべて再生可能エネルギー化する計画書を作成している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2		

